

事業名 CD	0106010716	各種県営事業負担金
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	300100	農林課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	環境と調和した農林業の振興
	小項目	農林業生産基盤の整備
関連する個別計画等	0	根拠条例等 土地改良法
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	農家経営の省力化を図るため、農業用施設の改良を実施する
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	農業施設の利用者(受益者)及び地区内住民
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(<input type="checkbox"/>) 県営事業による工事費の負担 負担割合 25% 広域農道は 10%
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	農業用施設の改修により農家の労働力の省力化を図り農業生産の向上と良好な生活環境を提供する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	157,373	154,471	135,343
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債	137,080	148,000	71,800
	その他			
	一般財源	20,293	6,471	63,543
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.54	0.54	0.54
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	3,727	3,731	3,684
D	総事業費(A+C) (千円)	161,100	158,202	139,027
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	4,335 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	かんがい排水事業 A=180ha 畑地帯総合整備事業 A=270ha 広域農道整備事業 L=911m ため池等整備事業 L=493m				7.00
成果指標	計画総事業費にたいする事業費率(%)	事業費 135,354 千円/計画総事業費 6,113,000 千円	2.57	2.53	2.21
効率指標	事業費に対する負担割合(%)	事業費 722,022 千円/負担費 139,027 千円(%)	20.11	18.31	19.26

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 地区からの要望の中から現地確認をし、大規模改修箇所でも県営事業に取込める箇所について県に要望し、県営事業で農業用施設等の改修を行い、事業費に対する負担で済み短年で施工できるので妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 事業効率は良いが、箇所数が増大することにより、負担金が増大することが懸念される。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 事業費に対する負担金であるため、事業費の縮減、人件費の縮減につながっている。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 農業用施設の整備を行い、労力の省力化、効率的な営農体制を築く。	(2) 23年度 事業負担を考慮しながら実施していく。	(3) 22年度 事業効果の発現を図る。
	21年度の改善計画		
21年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	農業用施設の整備にあつては、その必要性と費用対効果等を十分に検討し、受益者とのコンセンサスを踏まえ、対応していく。		